

関西コイルセンター工業会(会長・竹林泰治)は5月の総会で、活動内容を見直し、そ

「我々のCC業界を取り巻く環境が大きく変化し、課題が山積となっている中、昔と変わらない活動を続けていることに危機感をもった。また、会員数が漸減していることに加えて諸コスト高も

関西コイルセンター工業会 新役員体制スタート

竹林 泰治会長に聞く



あり、財政的に年々厳しくなっており、活動の活性化と予算見直しによる財政健全化の同時解決を

「昨年度は3回実施し、高炉メーカー3社にそれぞれ需給状況やカーボン

新委員会発足、各会の活動活性化 メリハリある予算措置講じる

「安全と技術・保全是試みを検討したい」

「今年度は電炉メーカーの業界にとって1つ目1番地の課題。この幅

「昨年度に需給委員会の2部制とし、2部では講演会を実施した。講演会の感想を、

「昨年度は3回実施し、高炉メーカー3社にそれぞれ需給状況やカーボン

「安全と技術・保全是試みを検討したい」

「今年度は電炉メーカーの業界にとって1つ目1番地の課題。この幅

「昨年度に需給委員会の2部制とし、2部では講演会を実施した。講演会の感想を、

「昨年度は3回実施し、高炉メーカー3社にそれぞれ需給状況やカーボン

「安全と技術・保全是試みを検討したい」

「今年度は電炉メーカーの業界にとって1つ目1番地の課題。この幅

「昨年度に需給委員会の2部制とし、2部では講演会を実施した。講演会の感想を、

「昨年度は3回実施し、高炉メーカー3社にそれぞれ需給状況やカーボン